

リハセンだより



第 53 号

4月1日付 新役職者のご紹介

高次脳機能障害の 秋田県の拠点病院として

副病院長 下村 辰雄

今年度から、副病院長を拝命しました。リハビリテーション科に属していますが、神経内科が専門で、当センターでは認知症、高次脳機能障害の診療などを主に行っています。

救急医療の進歩で重度の脳損傷患者の生命が救われる一方、重い後遺症を負った患者も増えています。これらの患者では、運動機能障害だけではなく、注意、記憶障害や遂行機能障害といった高次脳機能障害も抱えています。しかし、リハビリテーションにおいて、高次脳機能障害は、運動機能の回復を妨げる「阻害因子」というイメージが強く、これらに対する具体的なアプローチは多くはありませんでした。2001 年より「高次脳機能障害支援モデル事業」が開始され、高次脳機能障害は「阻害因子」から「治療対象」へと変化してきています。その一連の流れの中で、高次脳機能障害の支援普及事業の一環として県単位に拠点病院が設置され、普及・支援活動を行われ、秋田県では当センターがその役割を担っています。今後、秋田県の高次脳機能障害の拠点病院として、さらに充実した診療が行えるように努力していきたいと考えています。

就任にあたって

事務部長 鈴木 和朗

この 4 月に県庁少子化対策局からリハセンに来ました。さっそく 4 月上旬に病院長からの講話があり、新しくリハセンに入った新人職員の皆さんと一緒に聴きました。その中で、医療の本質は「人助けの気持ち」との話があり、自分が採用試験の面接時に「福祉分野に従事して、困っている人の役に立ちたい」と話したことが思い出されました。

私が県庁職員になったのは昭和 59 年ですから、職歴は 30 年目となりますが、これまで福祉や医療の仕事に直接携わることもなく過ぎていて、就職する時の気持ちなどは忘れてしまっていた気がします。

好きな本の中に、ひたむきな初心を持ち続けることが大切という意味の「初心安心」という言葉があります。改めて新鮮な気持ちと意欲を持つとともに、現場にも出て行きながら、皆さんと一緒に「県民から頼りにされるリハセン」を目指して、日々の業務に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

就任の挨拶

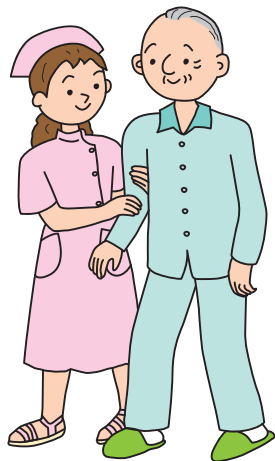
看護部長 佐藤 明巳

平成 14 年に、当センターへ配置となり 11 年目となります。初めての、精神科病棟勤務は戸惑いも大きく、また師長として、何をすべきか、ということから始まりました。精神科看護においては、専門性の高いスタッフは先輩であり、対象者は先生と思い看護を学びました。そんな中、師長が出来ることは、働きやすい職場風土を作る事と、スタッフへの声かけでコミュニケーションを取ることでした。医療安全対策室での 3 年間は、職員に医療安全対策室を知ってもらうため、報告書や院内巡回で事例を集め、関係部署に協力してもらい、いろいろな事例に対応・改善してきました。

看護部長就任中の目標は、看護職が「職業生活と私生活のバランスを保ち、安全で健康に働き続けられる環境を作る」ことです。そのために今年度は、職員満足度調査を実施し、現状分析・取組み・具体的改善策を立て、取り組んでいきたいと考えています。また人材育成も欠かせない目標であり、認定看護師や新人看護師の育成、院内外研修参加により知識・技術のレベルアップを図り、職員全体が成長していければと思っています。

今は、病棟や外来の情報を得て身近な問題を改善するために、他部署の協力を得て取り組んでいます。これらのことが活力となり、元気な組織作りに繋がれば幸いです。宜しくお願いします。

平成25年度
リハスタッフ
育成研修の
紹介



リハビリテーションスタッフ 育成研修事業

秋田県内のリハビリテーション病床整備に必要な関連職種の人材確保・育成と技術能力の向上を図るため、秋田県立病院機構秋田県立リハビリテーション・精神医療センターが、秋田県から委託を受けて実施する研修会です。



期 間

平成 25 年 6 月～12 月

理学療法士：全 4 回

作業療法士：全 4 回

言語聴覚士：全 4 回

臨床心理技術者：全 3 回

会 場

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

対 象

秋田県内に勤務するリハビリテーションスタッフ
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理技術者
看護師、介護福祉士 等

研修内容と 申込み方法

- 各職種ごとの詳しい日程、研修内容は当センターのホームページをご覧ください。
- 研修参加希望者は下記を参考にホームページの申込みフォームからお申込みください。
- 研修会の参加費は無料です。

参加申込み方法

FAX、郵送、Web サイト（申込みフォーム）、電子メールのいずれかよりお申込み下さい。（研修会の詳細、申込用紙が必要な方は育成研修会事務局にお問い合わせ下さい。）

Web サイト（申込みフォーム）

秋田県立リハセン

検 索

<http://www.akita-rehacen.jp>

トップページ

→ お知らせ

→ 研修事業申込みフォーム

連絡先・問合せ先

地方独立行政法人秋田県立病院機構 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
リハビリテーションスタッフ育成研修事業事務局

〒019-2413 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 352 電話：018-892-3751 FAX：018-892-3816

平成25年度 リハセン主催

研修会・ 講演会予定

リハセン 講演会



日 時：平成25年9月29日（日）

展示スペース 10：00～16：00

講演会 13：00～16：00

場 所：秋田市民交流プラザ「アルヴェ」

講演会：テーマ「もしあなたが・家族が認知症だったら？」

①認知症とは・診断・治療方法・治療の限界について

②入院前の話・退院準備と退院後の話

③患者さんとの接し方・注意すべき事柄

対 象：一般の方・医療福祉関係者等



リハビリテーション科 ケアシリーズ

日 時：平成25年11月29日（金）

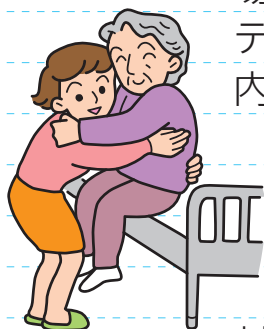
場 所：秋田県立リハビリテーション精神医療センター講堂

テーマ：知っておきたい高齢者のケア～うごく～

内 容：1. うごきに対する環境調整とケア（患者の症状や介護者に合わせたベッドの高さ、位置、ベッド柵、補助用具について）

2. 高齢者のうごきの特徴とそれに対するケアの仕方（PTによる講義と実技）

対 象：秋田県内の介護保険関係の施設等の職員



講演会、ケアシリーズの詳細は関係施設に郵送でご案内すると共に、ホームページにも掲載いたします。

<http://www.akita-rehacen.jp>

臨床検査科から 超音波診断装置 PHILIPS iU22 の紹介

臨床検査科では、25 年 3 月に超音波診断装置が更新されました。

新しく導入された超音波診断装置 PHILIPS iU22 の紹介をしたいと思います。

“PHILIPS”（フィリップス）というメーカーはあまり聞きなれない名前だと思います。このメーカーは、超音波検査においての循環器領域に優れており、今回導入した iU22 は、循環器に加え腹部臓器、消化器や表在臓器、表在血管、産科領域まで検査できる装置です。

iU22 が旧装置と比較して優れた点を少し説明します。

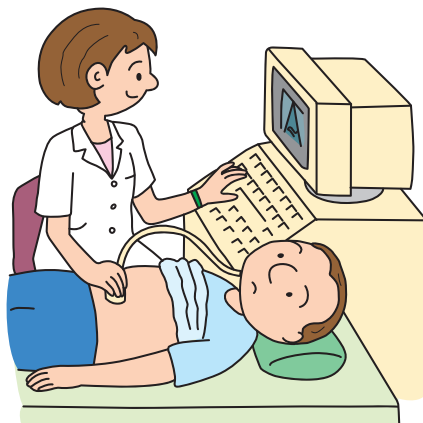
まずは、何と言っても新しい技術の単結晶プローブ『ピュアウェーブクリスタル』を搭載しその抜群の音響効果によって多種多様な患者に対して素晴らしい画質を提供する点です。正確なフォーカシングとビーム・ステアリングを併せ持つ、



フルサンプリング可能な電子トランジューサー設計=XMATRIX テクノロジーなど新しいテクノロジーが満載です。さらに 20 型ワイド液晶画面があることです。画面の大きさは、数ある超音波装置の中でもトップクラスではないでしょうか。また、周囲の明るさに合わせて、明るい場所 / 暗い場所でも見やすく画面を表示できる機能があります。ハイエンド機種の割には小さく軽いので病棟のベッドサイドにも難なく移動可能です。この超音波診断装置はリハセンの頼もしい働き者の一台です。



フルサンプリング可能な電子トランジューサー設計=XMATRIX テクノロジーなど新しいテクノロジーが満載です。さらに 20 型ワイド液晶画面があることです。画面の大きさは、数ある超音波装置の中でもトップクラスではないでしょうか。また、周囲の明るさに合わせて、



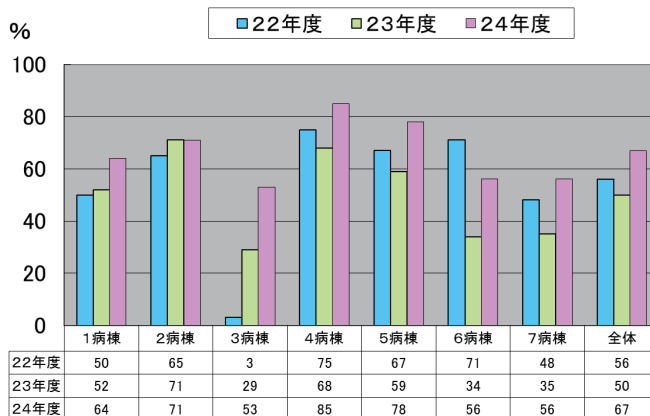
退院時アンケート調査結果についての報告

当センターでは平成18年7月より退院時アンケートを実施しています。各病棟及び総合受付に回収箱を設置して回収し、平成24年度の回収率は67%でした。(平成25年2月現在)回収率は前年度(50%)から大幅にアップしています。自由記載は好意的な意見が大半を占める一方、要望や苦情もあり、内容に応じた対応を行っています。

自由記載への要望例

- 病棟外の車いすトイレもウォシュレットであればいいと思います。
- 3病棟には、ウォシュレットのついているトイレが一つもないので、出来ればつけてほしい。
- お風呂のシャワーの温度が熱く調整もできないので温度調節の出来るシャワーだと、もっと快適。
- お風呂場が狭く、あまり安全ではない。
- テレビの調子が悪いので、新しいものにとりかえて欲しい。
- 廊下の窓の蜘蛛の巣が気になりました。

アンケート回収率の推移



自由記載へ感謝の言葉

- 妻も元気になって退院できるようになりました。これも先生はじめ看護師さん達のおかげです。大変親切にいただきました。私もこの年になって(70才)老後のために一番大切な生き方という物を忘れていました。リハセンで先生から学んだ事を生かしてマラソンだと思って残りの人生を夫婦二人で助け合いながらマラソンで生きていこうと思います。本当にありがとうございました。
- 超高齢で突然の駆け込み入院にもかかわらず入院治療を引き受けて下さった先生に感謝感謝です。私共家族には今後3ケタ年令も夢ではない希望を持てる程のうれしい、日本晴れの退院となりました。本当に大変な患者であったと思いますが、皆様のご協力対応に有難く存じます。本人家族共々、お世話になりました。ありがとうございます。

これからも患者・ご家族からのご意見に耳を傾け良い医療を目指していきます。
ご協力ありがとうございました。

促通反復療法(川平法)の研修会を開催しました。

NHKスペシャル「脳がよみがえる ～脳卒中・リハビリ革命～」で紹介され、脳卒中の新たなリハビリテーションとして注目を浴びている促通反復療法の創始者である鹿児島大学の川平和美先生がリハセンと脳研センターのリハビリスタッフを対象に研修会を行いました。受講した療法士は治療のテクニックを川平先生から熱心に学んでいました。

リハセンでは作業療法士が鹿児島大学霧島分院で研修を受け、川平法を導入しています。

●促通反復療法(川平法)とは

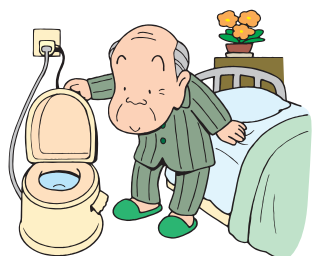
麻痺した手や足を操作することで、必要な神経回路に刺激を伝え、自発的に動かせるように誘導します。それを根気強く、繰り返し行っていくことで神経回路を再建・強化し、麻痺の回復を促進する新しいリハビリ法です。リハビリ動作は指や肘、肩、足などでいくつかのパターンがあります。麻痺の程度に応じてセラピストがリハビリメニューを組みます。



認知症・高次脳機能障害 ネットワークを設立しました！

平成 25 年 5 月 10 日、当センター下村辰雄副病院長（代表）、協和病院善本正樹院長、大仙市地域包括支援センター逸見博幸所長が発起人となり主に大仙・仙北地域を対象とした認知症に関する医療福祉の連携を目的としたネットワークが発足しました（ネットワークの正式名称は検討中です）。

今後、関連する施設等に案内を出し、ネットワークを広げていく予定です。



当面の活動としては

1. 定期的な勉強会、症例検討会の開催
2. 地域の医療、福祉関係者等を対象とした研修会、シンポジウムの開催
3. 地域で使える認知症連携パスの作成
4. ネットワークのリーフレット、会報の作成・配布等を計画しています。

ネットワークへの参加、ご協力をお願いいたします。



薬剤師・看護師募集

当センターでは、薬剤師・看護師の募集を行っています。
詳しい募集要項は秋田県立病院機構のホームページをご覧ください。



<http://www.akita-rehacen.jp>

バーコードリーダー機能のある携帯電話でこのコードを読み取ると、携帯サイトにアクセスできます。



当センターの受診予約・入院申込みについて

当センターのリハビリテーション科、神経・精神科、もの忘れ外来は全て予約制になっております。現在受診している医療機関がある場合は紹介状をご準備いただき診療予約をしたうえで来院して下さい。

また、当センターでは FAX による入院予約申込み（リハビリテーション科のみ）も受付けております。初めて FAX による入院予約を希望される場合は「医療相談連携科」までご相談下さい。

（外来受診・FAX 入院予約に関する申し込み・問い合わせ先）

018-892-3751（代表） 医療相談連携科まで

リハセン抗加齢ドック

脳と生活習慣病予防ドックを兼ねたユニークな検診を行います。体力やバランス、敏捷性など運動能力評価を行い、加齢や病気の影響を診断します。検診とその検査結果の説明は同日中に担当医から行われます。

検査日：毎週金曜日 午前 8 時 30 分～午後 2 時まで

（予約制）

抗加齢ドックのご予約、お問い合わせは

018-892-3751（代表） 医事課まで

検査内容

体組織・超音波骨密度・頸部エコー、頭部・腹部 MRI（内臓脂肪測定、胸部 X 線、血液・尿・心電図・肺機能、PWC（体力・持久力）・バランス検査、敏捷テスト

外来診療担当表

外来診療受付時間

午前 8:30～11:00



●リハビリテーション科・もの忘れ外来・高次機能障害外来診療担当表

	月	火	水	木	金
リハ外来(新患)	荒巻 晋治	横山 絵里子	佐山 一郎 下村 辰雄	佐山 一郎 細川賀乃子	佐山 一郎
リハ外来(再来)					
もの忘れ外来	佐藤 隆郎 (神経精神科)	下村 辰雄 (リハ科)	佐藤 隆郎 (神経精神科)	下村 辰雄 (リハ科)	神経精神科医師
高次脳機能障害外来					下村 辰雄 (リハ科)

●神経・精神科外来診療担当表

	月	火	水	木	金
新 患	①安宅慶一郎	①大森 佑貴	小畑 信彦	①伏見 雅人	倉田 晋
	②徳永 純	②倉田 晋		②兼子 義彦	
再 来 1	倉田 晋	小畑 信彦	兼子 義彦	高橋 祐二	兼子 義彦
再 来 2	大森 佑貴	高橋 祐二	徳永 純	倉田 晋	小畑 信彦
再 来 3		佐藤 隆郎	安宅 慶一郎	安宅 慶一郎	大森 佑貴



秋田県立リハビリテーション・精神医療センター(リハセン)

秋田市からは車が便利!!

秋田中央IC～(協和IC経由)～病院玄関まで17分以内

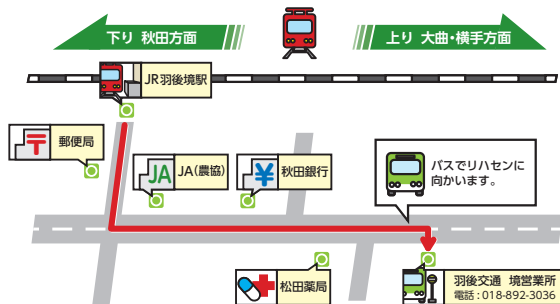


●電車とバスでリハセンに来るには

平成22年4月現在



1. JR 奥羽本線、羽後境駅で下車。
2. 徒歩で羽後交通境営業所に向かいます。(約3分)
3. 羽後交通境営業所から淀川線でリハセン経由「福部羅行き」に乗ります。
4. 羽後交通境営業所からリハセンまで約10分。リハセン玄関前のバス停で下車。



バス時刻表 (平成24年4月1日現在)

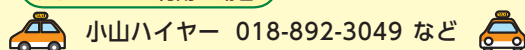
淀川線 (境～協和小学校～リハビリセンター～中逢田～下川口～福部羅)					
境営業所	坊台	リハビリセンター	坊台	リハビリセンター	境営業所
発	発	着	発	発	着
8:10	8:17	8:20	7:35	—	7:52
9:10	9:17	9:20	9:15	9:18	9:28
▲10:20	10:27	10:30	—	9:25	9:35
11:14	11:27	11:30	▲11:25	11:28	11:38
▲12:20	12:33	12:36	12:25	12:28	12:38
14:04	14:17	14:20	▲13:33	13:36	13:46
15:04	15:17	15:20	15:25	15:28	15:38
▲16:04	16:17	16:20	16:25	16:28	16:38
17:14	17:27	—	▲17:25	17:28	17:38
18:34	18:47	—	18:25	18:28	18:38

▲印は日曜日・祝日運休

所要時間と料金

JR上り	JR下り	バス
秋田駅～羽後境駅 約25分 運賃480円	大曲駅～羽後境駅 約24分 運賃400円	境営業所～リハセン前 約10分 運賃310円

タクシーをご利用の場合



小山ハイヤー 018-892-3049 など

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター診療情報

診療科目：リハビリテーション科、神経・精神科、放射線科
診療日：月～金（祝日・12月29日から1月3日を除く）
受付時間：午前8：30から11：00まで

病床数：一般病床：50床、療養病床：50床、精神病床：200床

●センターの特徴：365日毎日リハビリ訓練
脳ドック・物忘れ外来・精神科デイケア
画像診断(CT・MRI・SPECT)
日本医療機能評価機構認定

電話相談のご案内

リハセンへの受診や入院に関することについて、
電話での相談に応じております。
お気軽にどうぞ。 電話 018-892-3751

発行 秋田県立リハビリテーション・ 精神医療センター

〒019-2413
秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 352
発行責任者 小畑 信彦